

SCIPs（サイプス）政策ブリッジ実践プログラム（仮称）

(SCIPs : *Science of Science, Technology and Innovation Policy*)

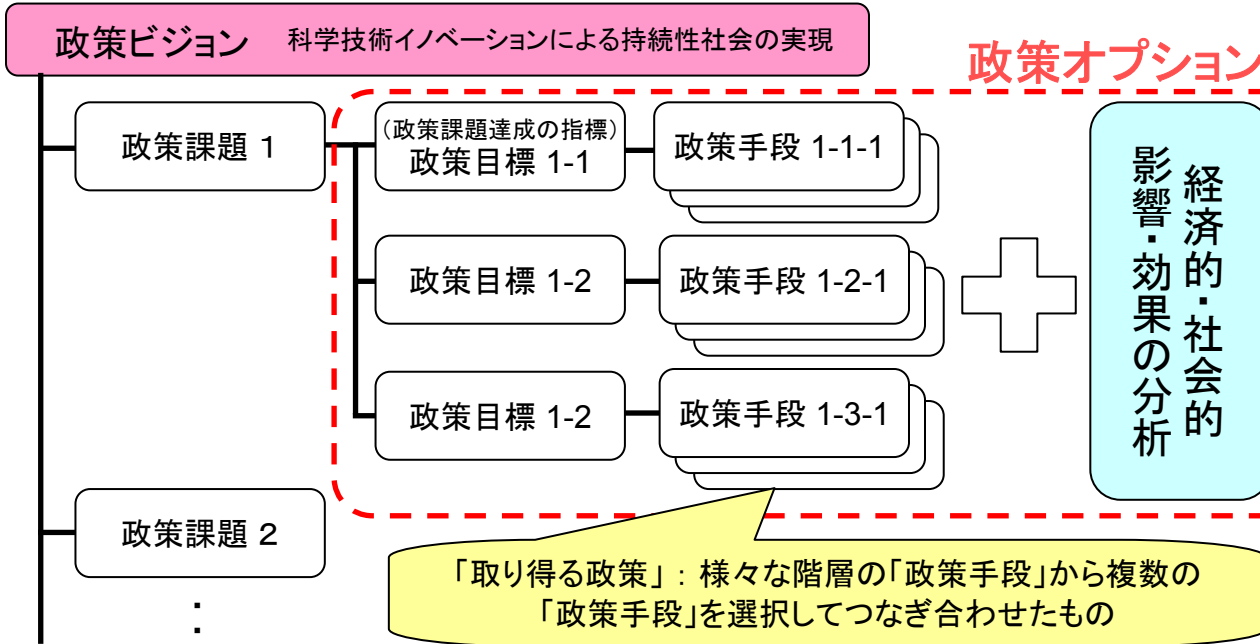
平成25年度概算要求額 : - 百万円
(新規)

事業の狙い

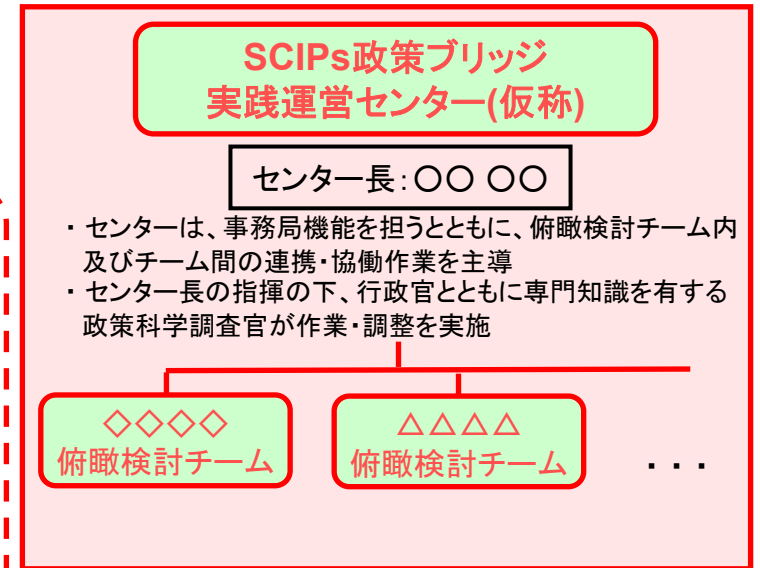
- 「政策のための科学」で設定されている事業全体の目標(政策オプションの立案等)達成に向けて、政策形成プロセスの各要素を一貫して実践し、実際の政策形成に活かすとともに政策課題の解決を目指すこと。
- 既存の各プログラム等で産出される成果を実際に政策形成に活かすための仕組み作りを行うこと。

「政策オプション」とは：

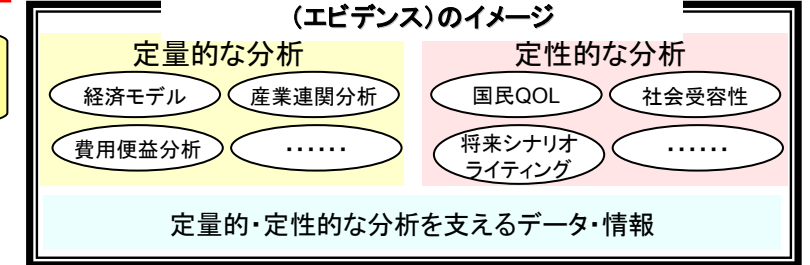
政策課題の解決に向けて、「取り得る政策」とその「経済的・社会的影響・効果の定量的・定性的な分析の結果」から構成されるものであり、複数の選択肢によって示される。



実施体制のイメージ



政策オプションの作成に必要な客観的根拠 (エビデンス)のイメージ



収集・作成・改変・加工・集積・体系化

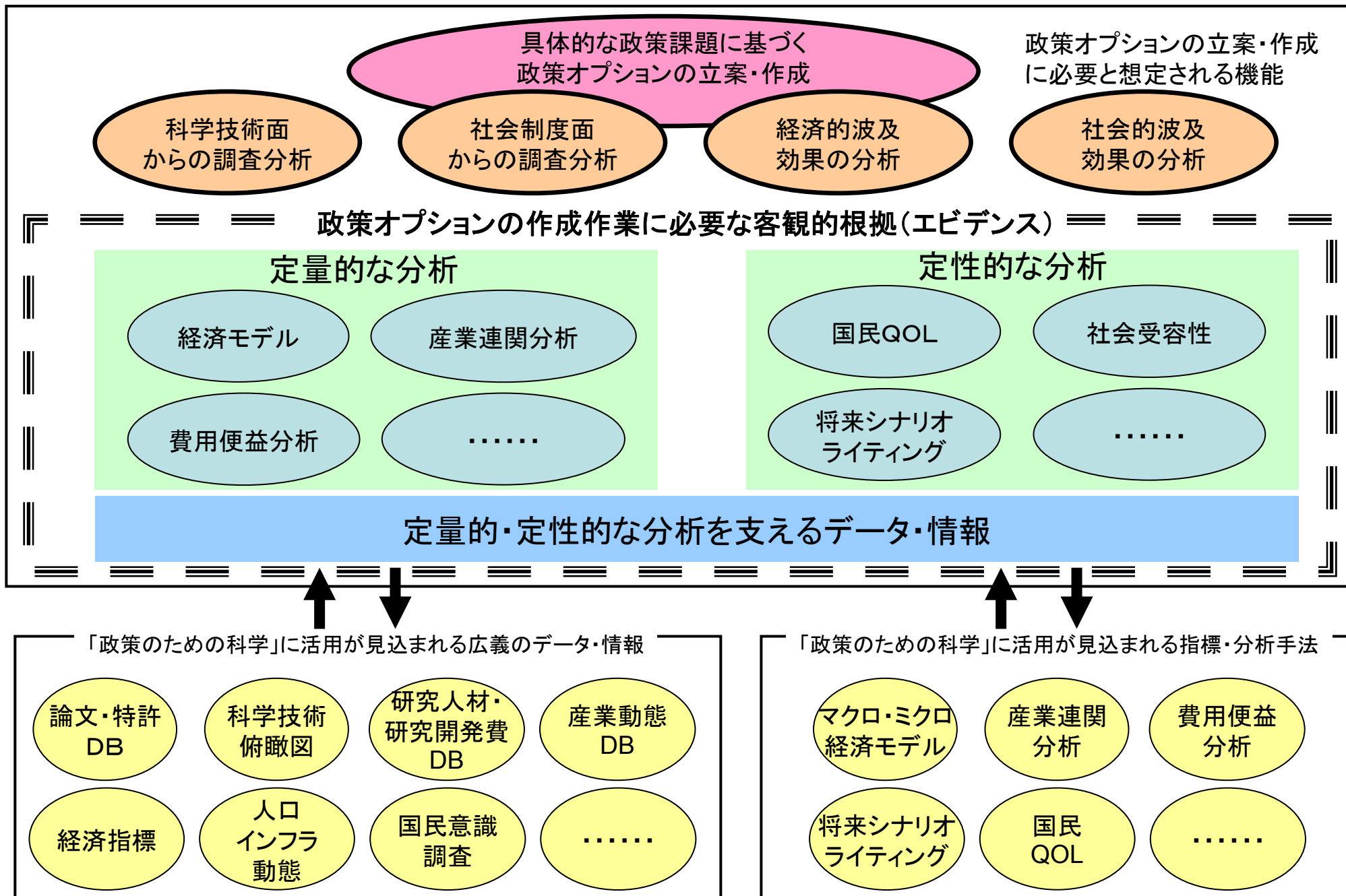


具体的な「政策課題」の例※：(※) 具体的な「政策課題」の設定にあたっては、平成24年度中に精査

- グリーンイノベ：太陽光を利用した革新的技術等による安定したエネルギー需給構造の実現
- ライフイノベ：革新的な診断・治療技術と予知予防技術による高齢者の健康増進社会の実現
- 横断的事項：我が国においてより優れたイノベーションを生み出すための人材システムの構築

平成24年度に詳細な検討を実施するとともに、25年度より複数の政策課題を選定し、具体的な政策オプションの作成を実践

SCIPs(サイプス)政策ブリッジ実践プログラム(仮称)を支える客観的根拠(イメージ)



俯瞰検討チームに必要と想定される機能※(イメージ)

具体的な政策課題：「〇〇〇〇」

(※) 以下に示される5つの機能は、政策課題に照らして俯瞰検討チームに必要と想定される機能であって、検討・研究体制ではない

科学技術調査 分析機能

- ・科学技術の側面から政策目標や政策手段をリストアップ
- ・個々の科学技術要素を、ブレークスルーから社会実装までの階層で区分けして整理

経済的波及効果 分析機能

- ・政策の実施による経済的側面からの波及・影響を分析
- ・経済モデル、産業連関分析等を用いてGDP・雇用・産業構造の変化、輸出入変化等を俯瞰的に分析

〇〇〇〇 俯瞰検討チーム

- ・政策課題「〇〇〇〇」の全体を俯瞰・マネージ
- ・有識者数名と研究を担う中心メンバーにより構成

政策オプション 作成機能

- ・それぞれの機能から得られる成果を束ね、政策オプションを作成・深化
- ・政策担当部局等との密接な連携・協働が重要

社会的波及効果 分析機能

- ・政策の実施による社会的側面からの波及・影響を分析
- ・仮想評価法や費用便益分析等の定量分析に加え、国民QOLなどの定量分析も俯瞰的に実施

科学技術調査分析
機能の体制(案)

経済的波及効果分析
機能の体制(案)

科学技術調査分析
の研究リーダー

JST・CRDS
科学技術俯瞰図

NISTEP
データ・情報基盤

専任フェローが全体調整

連携

経済的波及効果分析
の研究リーダー

NISTEP
政策課題対応型調査研究

各拠点
RISTEX採択機関

専任フェローが全体調整

連携

社会制度調査 分析機能

- ・社会・制度の側面から政策目標や政策手段をリストアップ
- ・新技術導入の隘路(規制等)や市場拡大策(税制等)などを類型化して整理